2012.09.04　冨松

**「index.html」について**

**◇ index.htmlの約束事**

あるフォルダの下に「index.html」ファイルがあれば、ブラウザでアクセスするときそのフォルダをアクセスすれば、その下にある「index.html」が自動的にアクセスされる、という**Webサーバでの約束事**があります。具体的には、HPを制御しているWebサーバ（ApacheやIISなど）で設定します。

例えば、枚方HPのトップページは「index.html」というファイル名にしていますから、「index.html」を省いて、http://www.shoai.ne.jp/hirakata/ ようにアクセスすればよいということです。もちろん、「index.html」を付けてhttp://www.shoai.ne.jp/hirakata/index.htmlとしてアクセスしても同じです。

ただ、各フォルダのメインページの**ファイル名の命名には何の制限もありません**。もし、枚方のトップページを「index.html」でなく「hirakata.html」としたとすれば、枚方のHPをアクセスするにはhttp://www.shoai.ne.jp/hirakata/hirakata.html のようにしなければなりません。URLにファイル名まで指定する必要があります。URLが少し長い指定になってしまいます。

このように「index.html」の意味は、「**フォルダにindex.htmlがあれば、そのフォルダを指定するだけでindex.htmlが自動的にアクセスされる**」という、たったそれだけの意味しかありません。でもそれは大変便利なことです。コンピュータ上ではフォルダが異なれば、同じファイル名でも別ファイルとして認識されるので、世の中のほとんどのHPのフォルダは、内容の異なる「index.html」だらけです。

**◇フォルダにindex.htmlがない場合**

ところで、フォルダ内に「index.html」がなかったとき、もしそのフォルダに直接アクセスしたらどうなるでしょうか。第29回夢中人「岡本さん」のページを、URLを指定して覗いてみましょう。

http://www.shoai.ne.jp/hirakata/mutyu/okamoto/okamoto.html

ついでに、閲覧者がhttp://www.shoai.ne.jp/hirakata/mutyu/okamoto/ とアクセスをする可能性は十分あります。このときブラウザの表示はどうなるのでしょうか。

okamotoフォルダには表示すべき「index.html」がないので、結果としてこのフォルダ内の全てのフォルダとファイル名が、右図のようにブラウザ内に表示されてしまいます。

このフォルダとファイル名を見せること自体は必ずしも悪いことではないのですが、制作者の意図としては本来見せたくないファイルやフォルダも見られてしまう可能性があります。これを見えないようにする工夫は、後の項で触れることにします。

**◇新枚方HPのフォルダ構成**

URL欄にリンク先ページが正しく表示されないことと、SEO（検索エンジン最適化）対策に不向きであることが、W3Cがフレーム構成を避ける勧告をしている大きな理由になっています。

そこで、新枚方のHPは全てのフォルダ構成においてフレーム構成を廃止しました。従って、どこにリンクを辿ってもURL欄のアドレスはそのページが表示され、どのページも普通に「お気に入り」に登録することができます。同時に、SEO対策の第一歩もクリアしました。

ただ、フレーム構成を廃止すると現枚方HPのページ**上段のメニュー帯を表示することができません**。リンク先から戻るときの操作性については、別途考慮する必要があるかもしてません。

さらに、新枚方のHPは「index.html」ファイルはトップページのみに使用することにしました。多くのフォルダのトップページを「index.html」とすれば、アクセスするURLは短くなりますが、同じファイル名の「index.html」の数が多くなって、多人数での管理に混乱を招く恐れがあるからです。

各フォルダのトップページのフォイル名は、mutyu.html、kurawan.html、matuiti.htmlなどと内容を表す名前にします。ただ、「index.html」をなくすとフォルダ内が丸見えになるので、その対策が必要になります。

**◇ダミー「index.htm」**

さて、フォルダ内に「index.html」ファイルがあれば、それが自動的にアクセスされるということの裏を返せば、その内容の如何に関わらず「index.html」ファイルがあればそれがアクセスされ、「index.html」があるフォルダ内のフォルダやファイルは見えなくなってしまうということになります。これが**ダミーのHTMLファイル**の考え方です。

トップページ以外の各フォルダには、このダミーのHTMLファイル「index.htm」を入れ、そのフォルダ内が見えないようにしました。内容のある枚方トップページの「index.html」と明示的に区別するために、拡張子を3文字の「.htm」としました。新枚方HPの「index.htm」一例を下記に示します。

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">

<HTML>

<HEAD>

<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift\_JIS">

<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">

<META http-equiv="refresh" content="5;URL=http://www.shoai.ne.jp/hirakata/index.html">

<TITLE></TITLE>

</HEAD>

<BODY>

<br><p style="text-align:center ">

5秒後に枚方トップページにジャンプします。<br>

ジャンプしない場合は、下記のＵＲＬをクリックしてください。<br>

<a href="http://www.shoai.ne.jp/hirakata/index.html">http://www.shoai.ne.jp/hirakata/index.html</a></p>

</BODY>

</HTML>

**◇参考：枚方HPのフォルダ構成の変遷**

**・旧枚方HPのフォルダの構成**

枚方HPのページ構成は、チョッとややこしい歴史的な経緯を辿っています。当初日垣さんが引き継ぐまでは、枚方HPはトップページのみフレーム構成になっていました。（くらわん会を除く）

トップページの「index.html」はフレーム設定ページとなり、上段メニュー帯（topframe.html）とトップ内容（topmenu.html）から成っています。ここで閲覧者がhttp://www.shoai.ne.jp/hirakata/ とアクセスすれば、上段にメニュー帯のある現枚方トップページが表示されるようになっています。

枚方トップページのフレーム構成は現在も変わりませんが、当初はその他どのフォルダにも「index.html」はありませんでした。例えば、夢中人紹介「mutyu」フォルダには「mutyu.html」しかありません。リンクを辿ってこのページは見えますが、URLはhttp://www.shoai.ne.jp/hirakata/ のままで変化しません。普通の方法では、このページを「お気に入り」に登録することもできませんでした。

この動作は**フレーム構成というHTMLの必然的な現象**で、Webサーバの「index.html」に関する約束事とは全く関係ありません。トップページの「index.html」がフレーム構成になっているからです。

**・現枚方HPのフォルダの構成**

その後、日垣さんがトップページに次ぐページにも、「index.html」を追加しフレーム構成にしました。松愛会本部ページから枚方のページに訪れた人が、枚方のページと分からない、見た後に枚方の他のページも見てもらいたい、ということを解決する苦作です。枚方HPにメニュー帯が出るように、フレーム構成にしたのです。次は「mutyu」フォルダの「index.html」の例です。

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Frameset//EN">

<html lang="ja">

<head>

<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift\_jis">

<title>夢中人紹介</title>

</head>

<frameset rows="25,\*" frameborder="NO" border="0" framespacing="0">

<frame src="../topframe.html" name="a" scrolling="NO" noresize>

 <frame src="mutyu.html" name="c">

</frameset>

<noframes>

枚方トップページに比べて、上段メニュー帯「topframe.html」は同じで、夢中人紹介「mutyu.html」のみ異なります。

<body>

</body>

</noframes>

</html>

日垣さんが「index.html」は触れないで、「mutyu.html」のみ修正してください、といつも言っている意味がこのソース例でよくわかります。「mutyu.html」で「夢中人紹介」の内容が決まります。

以上